

木造都市研究会 木愛の会 主催

木造都市のルネッサンス

木の連歌

シリーズ part 4

木造都市研究会「木愛の会」は、名古屋を拠点に研究会や見学会、提案など、木造都市実現に向けた様々な活動を行っています。会員募集中。

<http://www.kiainokai.net/>

木の連歌シリーズは、毎回異なる講師をお招きし、それぞれの木に対する思いや作品・研究をご紹介頂き、連歌方式で次の講師に引き継いでいく研究会です。初回はウィーン工科大学の谷篤子氏に、第2回は大同大学の武藤隆氏に、第3回は木愛の会の前代表世話人の田中英彦氏にお話し頂きました。第4回となる今回は、元東大安藤研究室助手で、現在九州大学准教授の鵜飼哲矢氏をお招きし「愛知まちなみ建築賞」を受賞した「道の駅・もっくる新城」をはじめとした様々な取り組みをご紹介頂きます。木造都市の実現に向けて議論をつなぐ新企画「木の連歌シリーズ」にぜひご来場ください。

代表世話人 太幡英亮 (名古屋大学)

鵜飼さんへ 昨年の夏に奥三河を訪れる機会があり、たまたま「道の駅・もっくる新城」に立ち寄りました。その建ち方や、木をふんだんに、そして効果的に使っている有様はとても印象に残りました。ちょうどその翌週に、私も審査員をしている「愛知まちなみ建築賞」の審査があり、エントリーされていた「道の駅・もっくる新城」に再会しました。資料を見ると設計者は鵜飼さんであるとのこと。鵜飼さんが東大安藤研の助教をされていた頃に、私も安藤事務所のスタッフだったこともあり、何度かお目にかかる機会がありましたが、何か不思議な縁を感じました。「道の駅・もっくる新城」の詳細の感想は「愛知まちなみ建築賞」の審査評に譲りますが、この木愛の会での連歌シリーズもそんな縁のひとつになればと思います。 武藤隆 (大同大学)

鵜飼哲矢氏 講師

九州大学芸術工学研究院環境デザイン部門准教授

テーマ

もっくる新城の設計ほか

愛知県刈谷市のご出身で、丹下健三都市建築設計研究所を経て鵜飼哲矢事務所を設立。東京大学建築学科助手の後、現在は九州大学准教授として教鞭をとられています。「刈谷ハイウェイオアシス」で多くの建築賞を受賞され、「もっくる新城」では愛知まちなみ建築賞を今年、受賞されました。



2016年7月28日(木)
19:00~20:30

丸美産業株式会社 会場
本社5階会議室

名古屋地下鉄桜通線瑞穂区役所下車すぐ

参加申込先 木愛の会事務局
kiainokai@gmail.com

定員 30名

参加費 学生・会員：無料、一般：1000円